

企業の取り組みを、社会の参照軸へ

本指標は、学識経験者の知見を基盤に開発されました。

企業の実践データをもとに、日本企業におけるウェルビーイング経営の実態を可視化し、

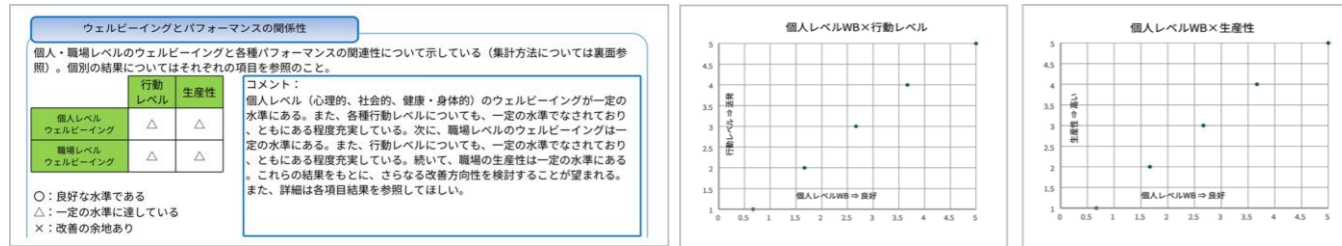
産業界全体へ知見を還元することを目指しています。

ご協力企業のデータは、個社が特定されない形で匿名化・統計化したうえで分析し、

傾向や示唆を広く共有していきます。

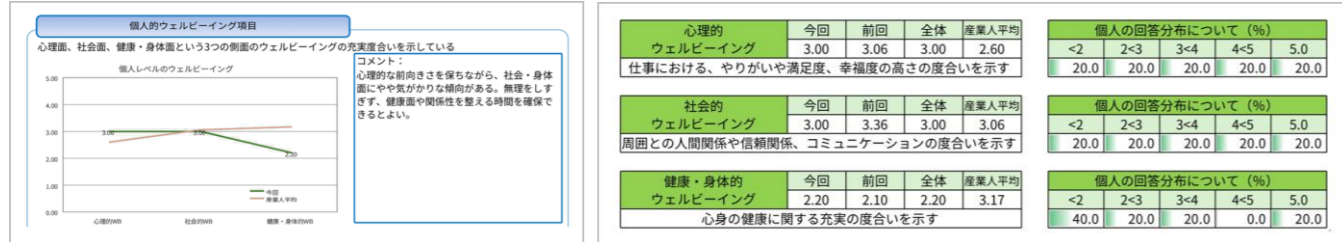
広く活用されること自体が、日本企業におけるウェルビーイング経営の水準向上につながります。

組織分析結果イメージ ～職場のウェルビーイングを軸に組織の強み・課題を可視化～



▲SAMPLE① ウェルビーイングとパフォーマンスの関係性

個人・職場レベルのウェルビーイングと各種パフォーマンスの関連性について示しています。



▲SAMPLE② 個人的ウェルビーイング項目

心理面、社会面、健康・身体面という3つの側面のウェルビーイングの充実度合いを示しています。

お問合せから導入までの流れ

- STEP 1** ご案内
設問一覧や実施方法をご案内します。
- STEP 2** 申込み手続き
(専用ページから申込み)
- STEP 3** サービス開始／アンケート実施
- STEP 4** 組織単位で結果確認

健康いきいき職場づくりフォーラム指標 検討グループ分科会メンバー

主査 池田 浩 九州大学 大学院 人間環境学研究院 准教授
森永 雄太 早稲田大学 グローバル・エデュケーション・センター 教授
島津 明人 慶應義塾大学 総合政策学部 教授
加藤 容子 椋山女学園大学 人間関係学部 教授
大竹 恵子 関西学院大学 文学部 総合心理科学科 教授
小林 正弥 千葉大学 大学院 社会科学研究院 教授



詳細・プレスリリース
<https://www.ikiiki-wp.jp>

無料で利用可能

職場から変える ウェルビーイング経営

OWI

ウェルビーイング・
サーベイ

職場(チーム)を中核に、
個人・組織施策まで多層で可視化する
組織ウェルビーイング測定指標



お問合せ先



公益財団法人 日本生産性本部
「健康いきいき職場づくりフォーラム」事務局
〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12
TEL : 03-3511-4024 FAX : 03-3511-4064 Mail : ikiiki@jpc-net.jp

OWIウェルビーイング・サーベイの
お申込みはこちらから



公益財団法人 日本生産性本部
「健康いきいき職場づくりフォーラム」事務局
公益的枠組みのもと、尺度およびアンケート環境を無償提供



日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER

職場から、ウェルビーイングを捉え直す。～職場を中核に分析～

こんな課題はありませんか？

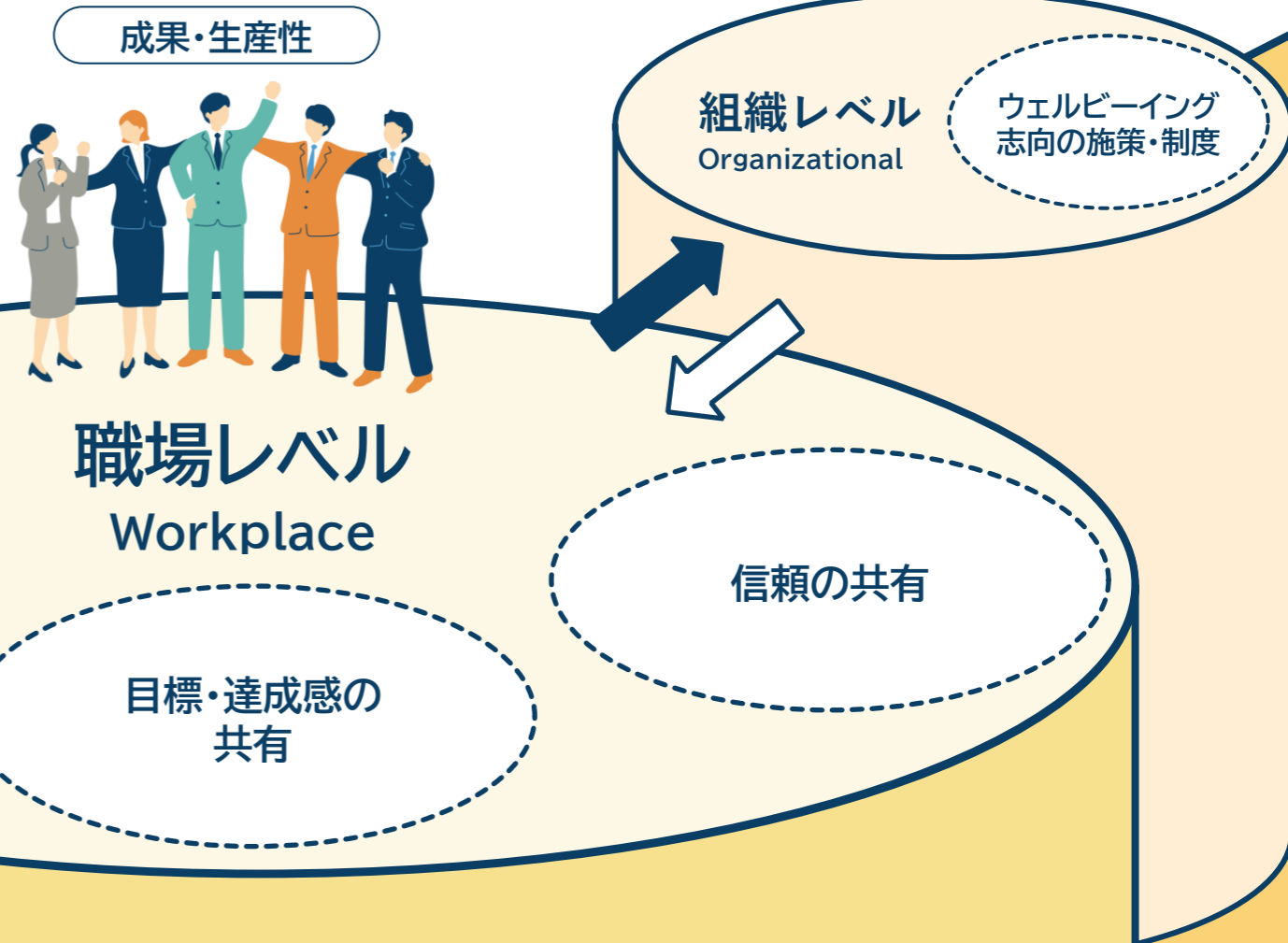
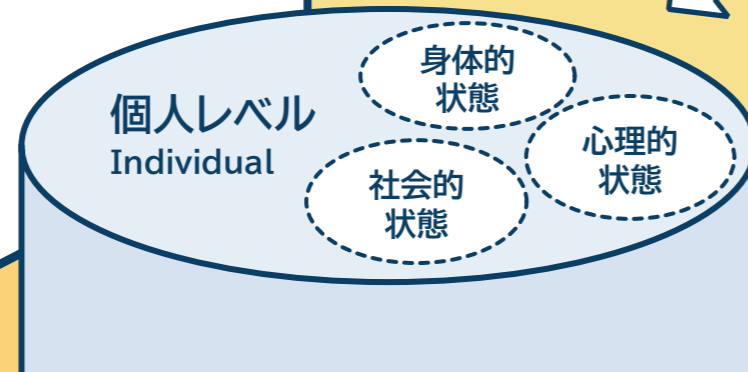
- 自社のウェルビーイング状態を把握したい
- 人的資本経営を深化させたい
- 施策と成果の関係を強調できる材料がほしい
- 職場単位で改善を進めたい

人的資本経営や健康経営の広がりにより、企業ではさまざまな取り組みが進められています。しかし、ウェルビーイングをどの単位で捉えるかについては、必ずしも十分に整理されてきたとは言えません。個人の状態だけでなく、職場(チーム)で共有されている状態を測ること。そこに、組織成果との接点があると研究結果より示されました。

OWIの3層構造モデル

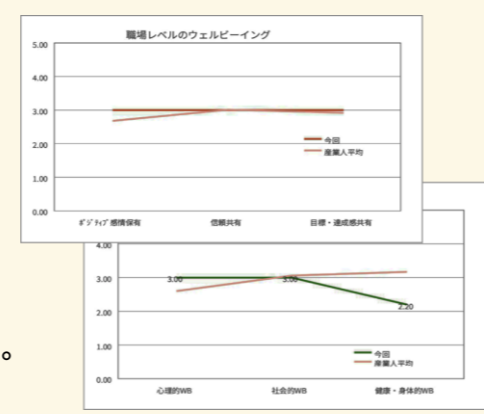
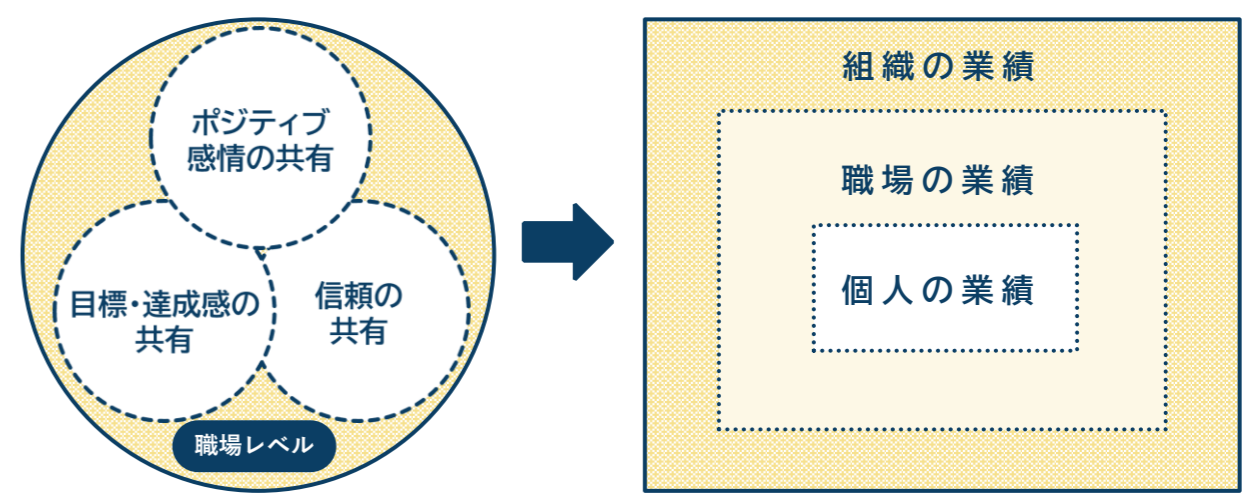
組織の実態を捉える単位は「職場(チーム)」

OWIは、職場(チーム)レベルの状態を中核に捉えます。



施策-職場-業績の関係

組織や職場の業績には、「**職場レベルの共有**」が強い効果を持つ。職場レベルの共有が業績に及ぼす強い効果は、「組織レベルのウェルビーイング施策・制度」が豊富にあり、浸透している環境でこそ実現する。



OWIの主な特長

特長1: 職場(チーム)を中核に定量的に可視化

職場で共有されている状態を定量的に把握。比較可能な形で可視化。

特長2: 多層構造でウェルビーイングを分析

個人・職場・組織施策を統合的に測定。施策と現場の関係を立体的に把握可能。

特長3: 施策と成果の関係を検証

縦断分析により、職場ウェルビーイングと生産性・業績との関連を確認。※右記の「施策-職場-業績の関係」参照

特長4: 公益的枠組みによる開放

本指標は、産業界全体の基盤づくりを目的として、尺度およびアンケート環境を無償で提供しています。※個人帳票出力や自動分析機能等は有料オプションで対応可能